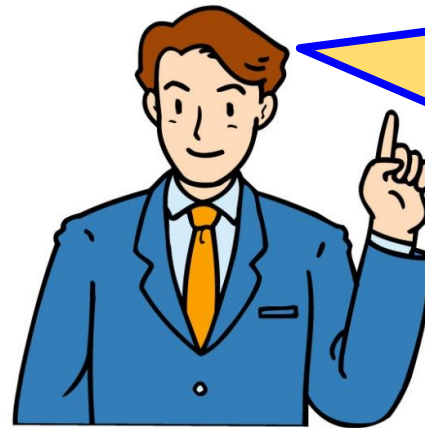
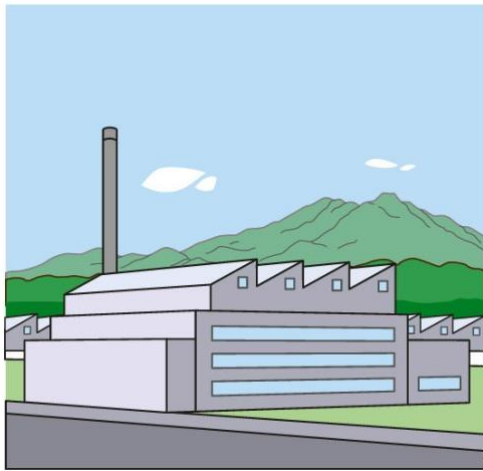


改善で有名な大手自動車メーカーも費用対効果を認めた

「生産性向上システム」

稼働率も簡単分析

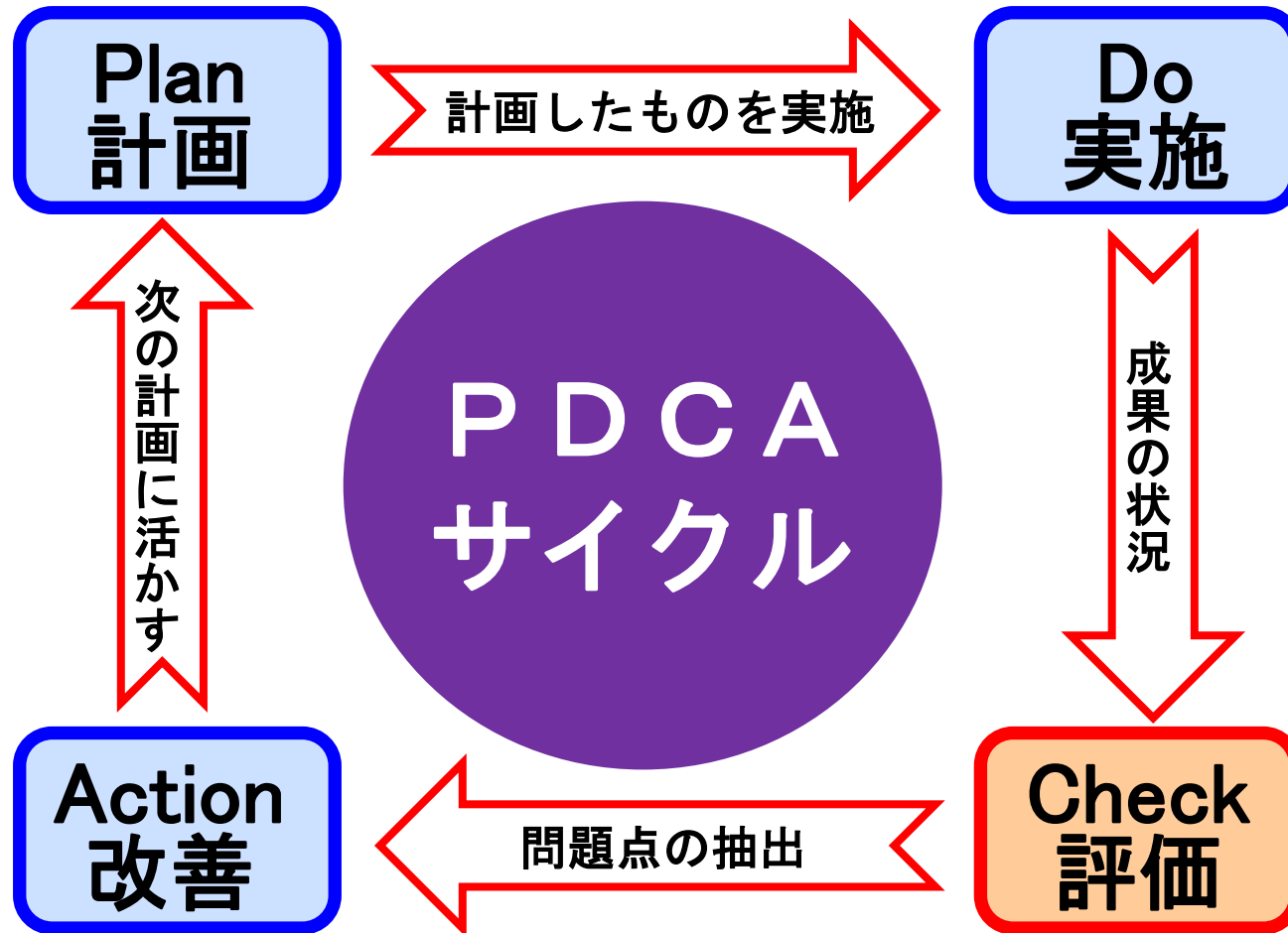
問題を解決するには、今、見えている問題ではなく**問題の下に**
有る問題を(人には探し出せない)見つけないと解決出来ません



グローバル化に対応
してビジネスを続ける
ために！
人の時間当たりの生産
性向上でワークライフ
バランスも実現！

日本ではなかなか進まないPDCAサイクル

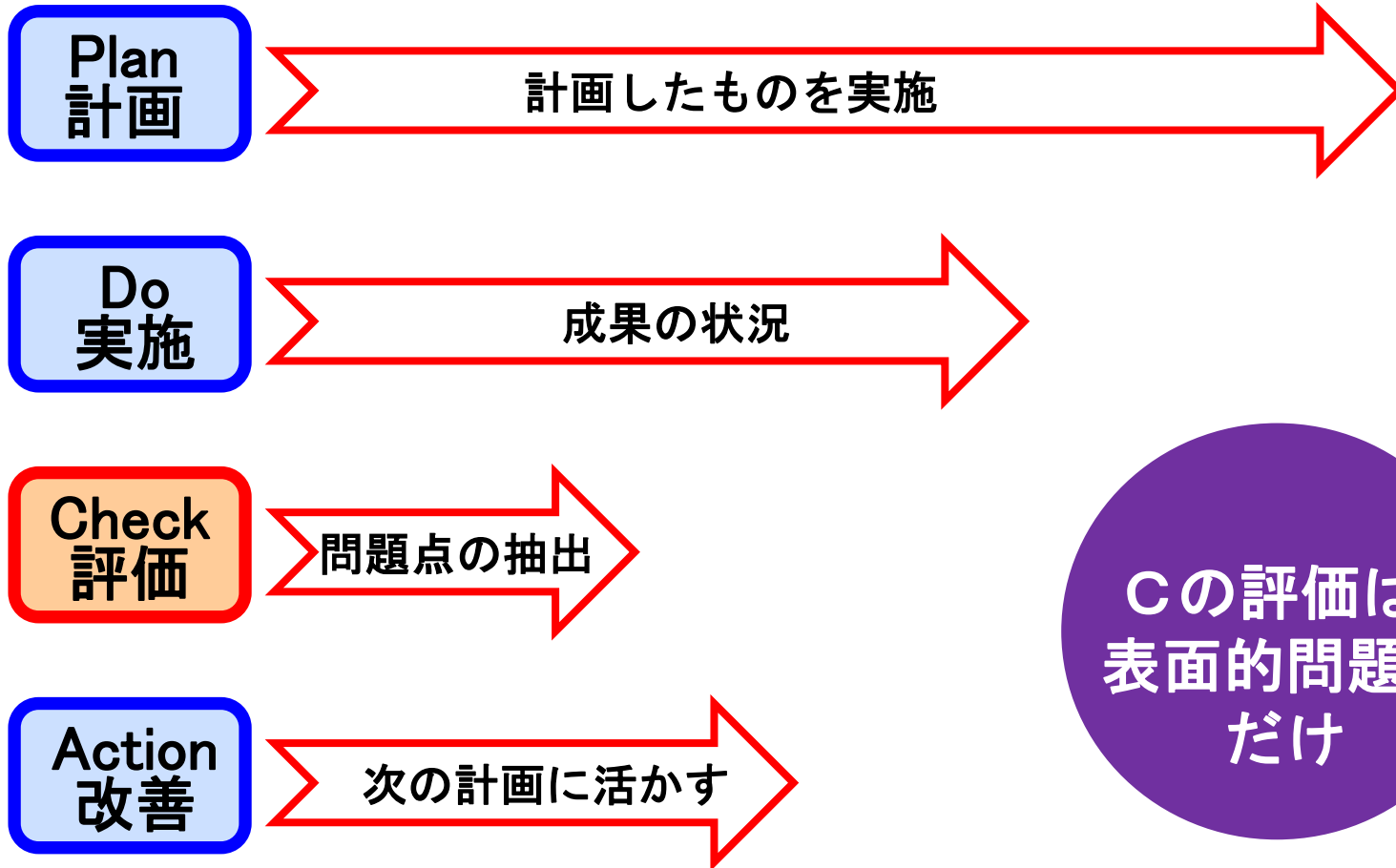
御社のPDCAサイクルは回ってますか？



日本におけるPDCAサイクルの現実

企業は企業価値を上げるために利益を出し続けなければならない

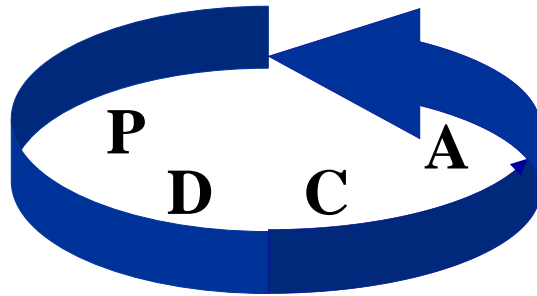
各段階の進捗の割合



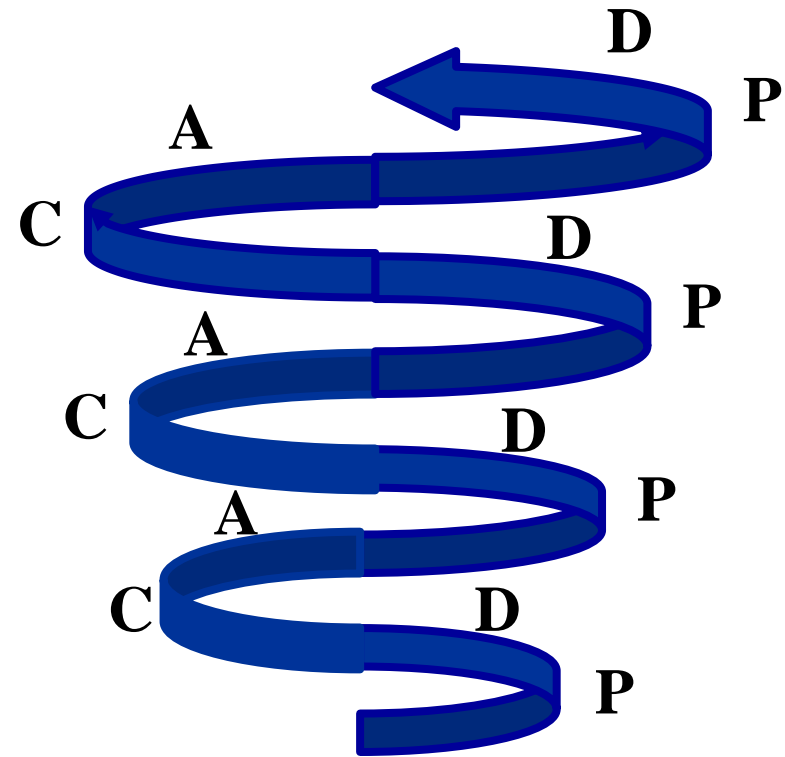
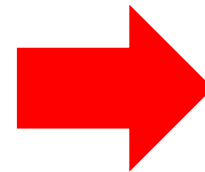
表面的問題点のチェックだけでは改善が進まない

目に見える問題ではなく、見えない問題点を探し出す

今、見えている問題ではなく**問題の下に有る問題**を(人には探し出せない)見つけると、御社のPDCAサイクルも回りだします



同じ段階で進まない
現状のPDCAサイクル

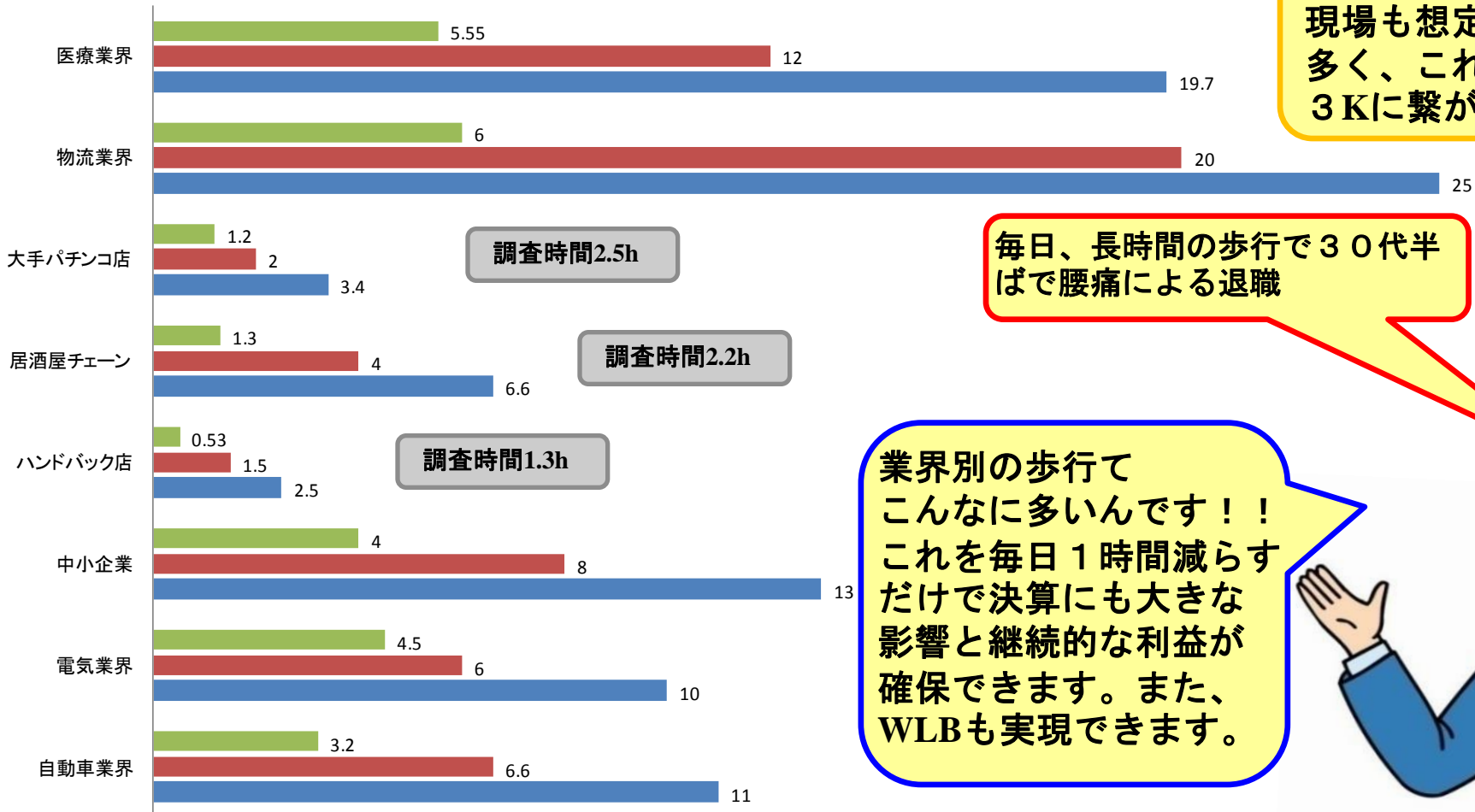


常に進化して回って行く
PDCAサイクル

こんなに多い業界別歩行比較(一例として)

業界別歩行比較(1h~11h)

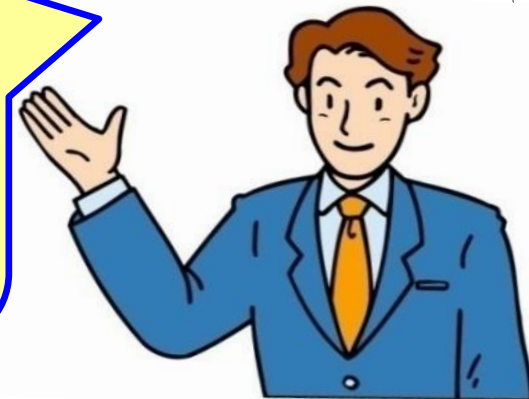
■ 歩行時間 h ■ 歩行距離 km ■ 歩数 × 1000歩



改善が遅れている医療現場も想定外に歩行が多く、これが重労働感3Kに繋がります。

毎日、長時間の歩行で30代半ばで腰痛による退職

業界別の歩行でこんなに多いんです！！これを毎日1時間減らすだけで決算にも大きな影響と継続的な利益が確保できます。また、WLBも実現できます。



コスト削減効果(無駄な歩行を1時間削減の場合)

1. 平均人件費(経費含む)

800万円	→→→	1カ月当たり	667,000円
	→→→	22日稼働	30,300円
	→→→	1時間当たり	3,800円

2. 1日当たり20人稼働として

1時間削減の場合 $3,800円 \times 20人 = 76,000円$

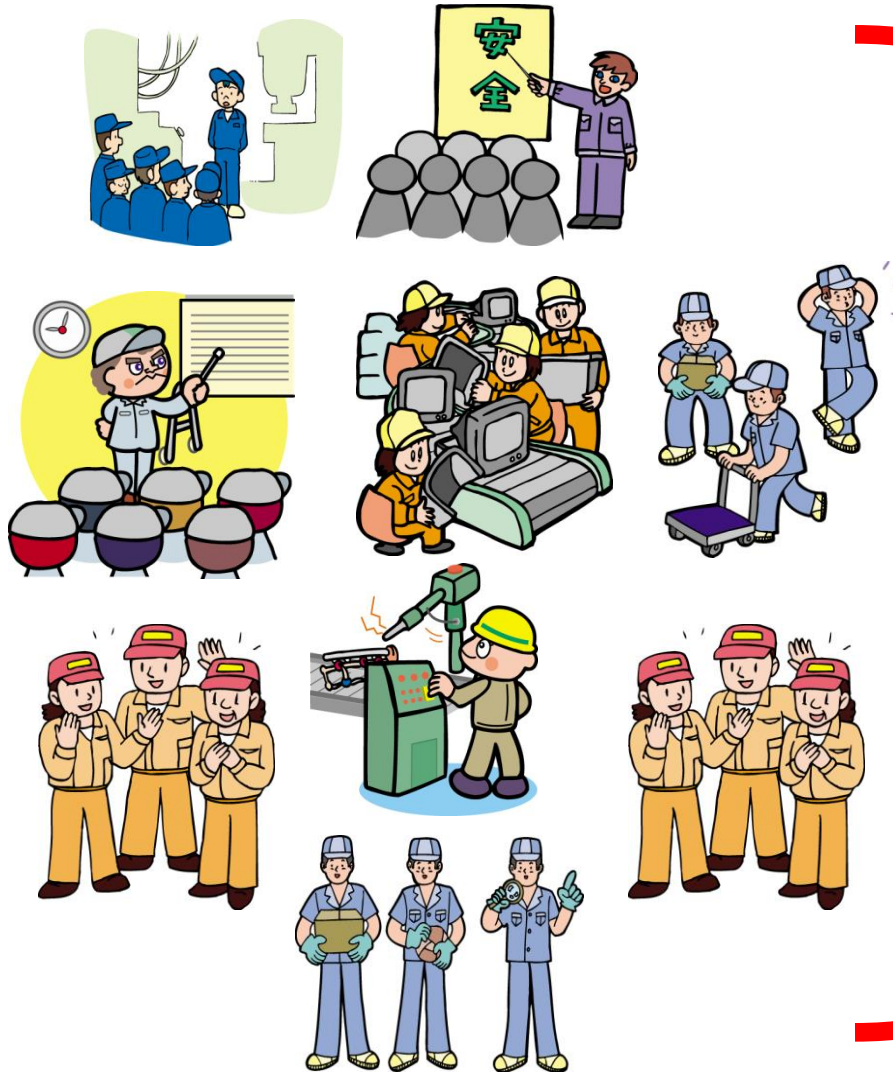
3. 1ヶ月間削減額 1,672,000円

4. 1年間削減額 20,064,000円

個別改善ではない全体最適化で、動線を短くし歩行の無駄を取り生産性の向上とトータルコスト削減が図れます。

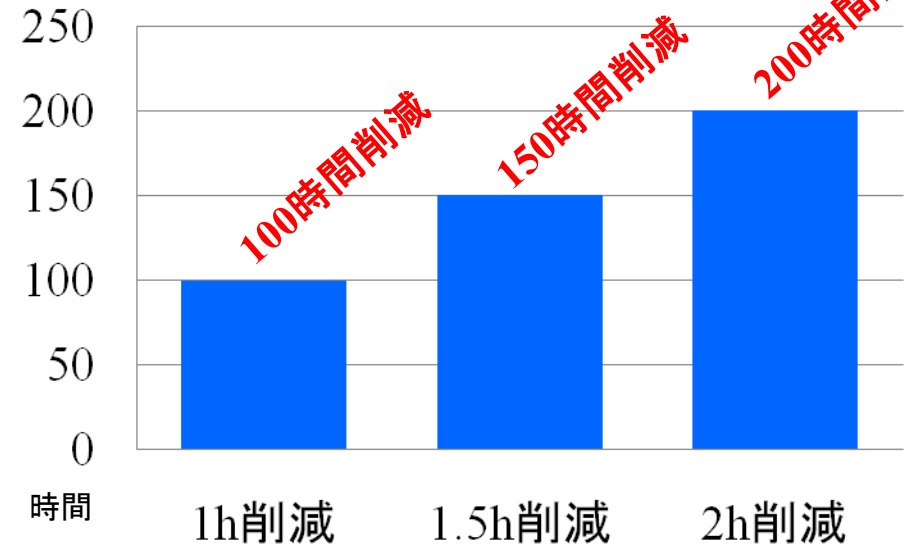
コスト削減効果1 (無駄な歩行を1時間削減で増産の場合)

工場内



大手企業の現場では
平均3~4時間の歩行

従業員100人の場合



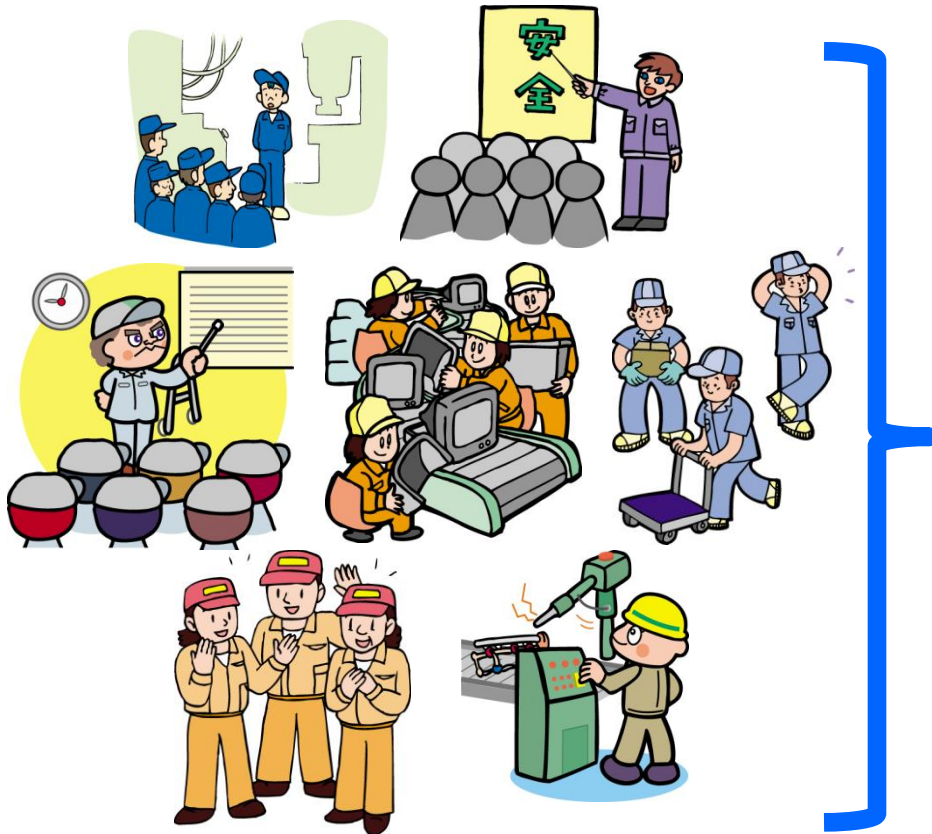
1人1時間削減 = 100時間/日
 1カ月では = 2200時間/月
 (月22日で計算)
 1年間では = 24000時間/年
 (年240日で計算)

浮いた時間で増産・WLB

コスト削減効果2 (無駄な歩行を1~2時間削減で減産の場合)

工場内

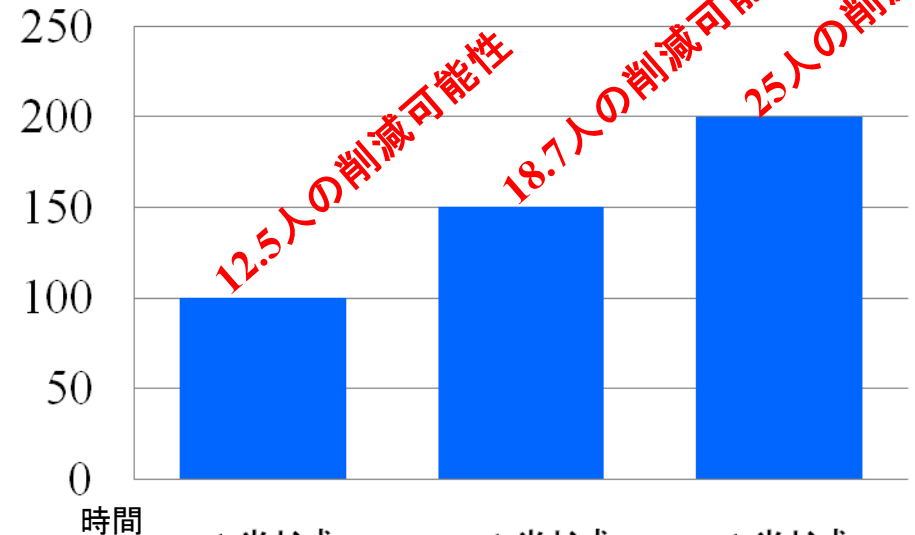
同じ仕事量又は減産の場合



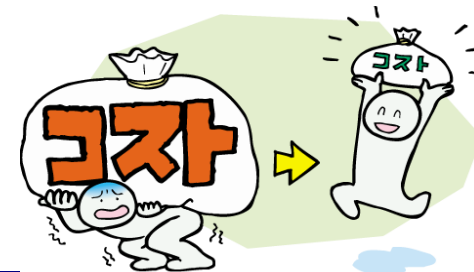
減産しても工場は維持し再起を待つ

大手企業の現場では
平均3~4時間の歩行

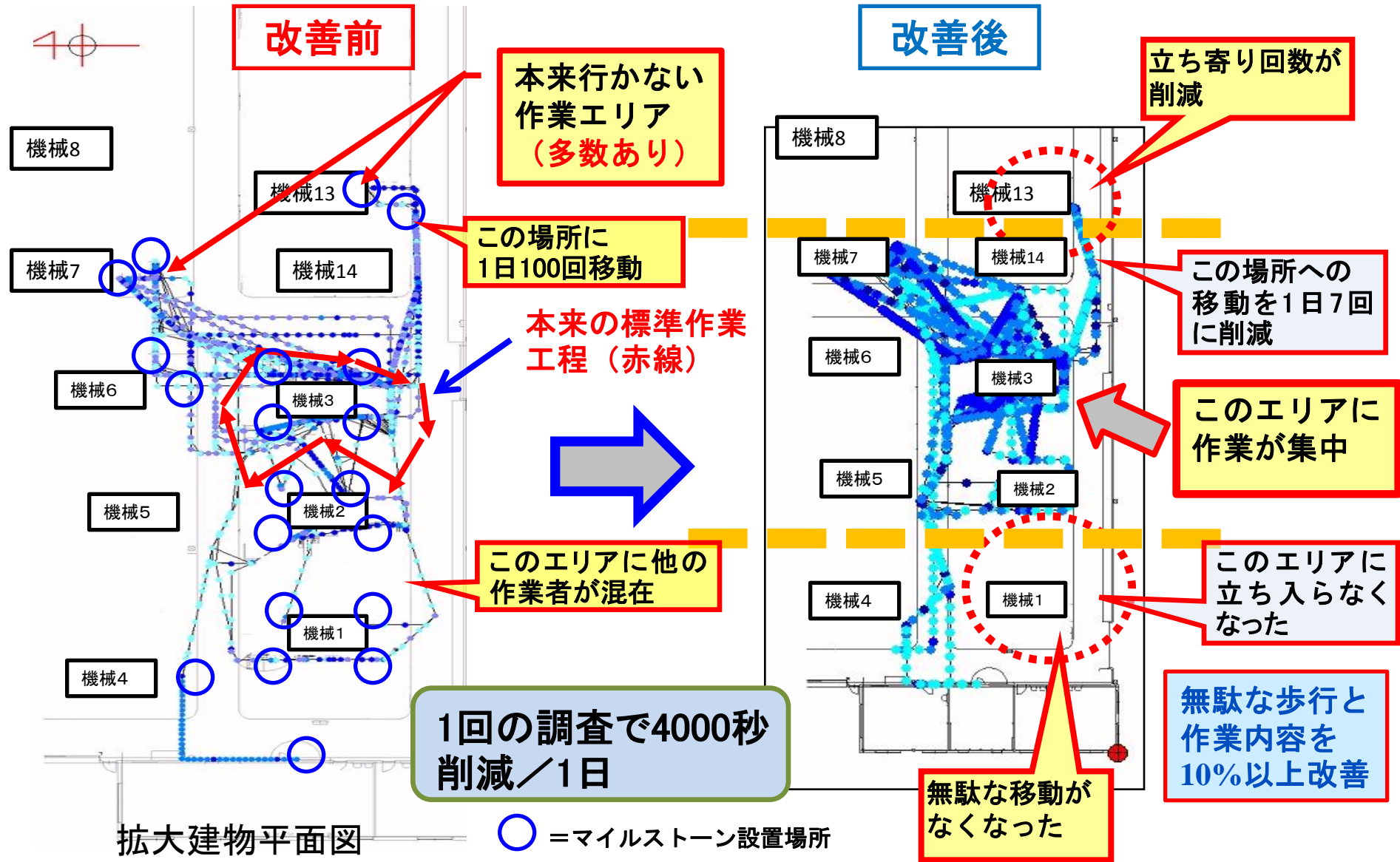
従業員100人の場合



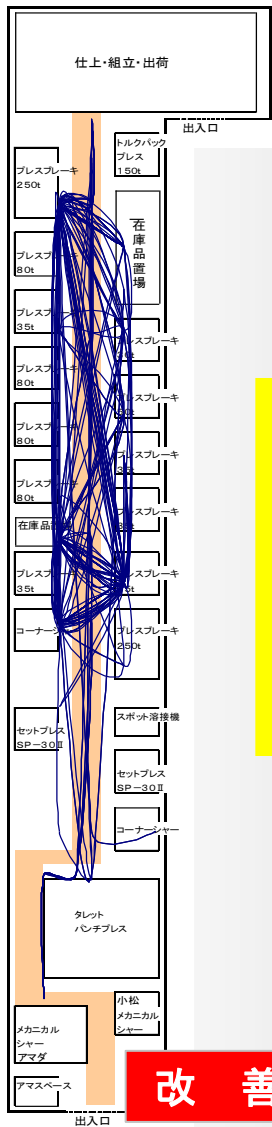
減産の現場は雇用調整金を活用



トヨタ生産方式により、あらゆる改善をやりつくした現場で大幅な歩行時間の削減

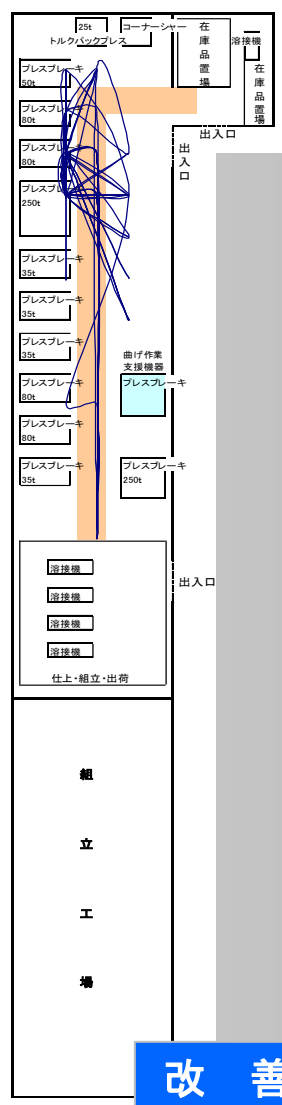


調査後にレイアウト変更でムダな移動・作業が削減

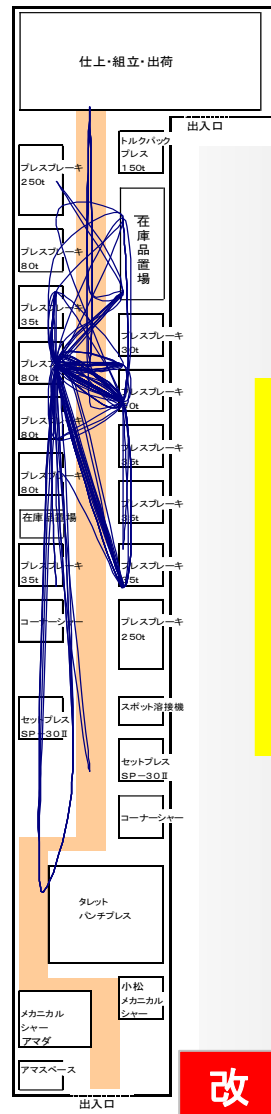


改善前

作業者A様の動線

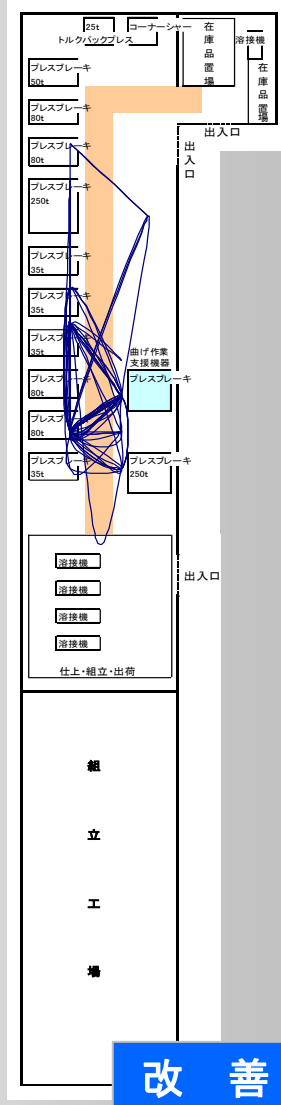


改善後



改善前

作業者B様の動線



改善後

作業者の動線を短くする(経営トップ・管理者が見たい見える化)

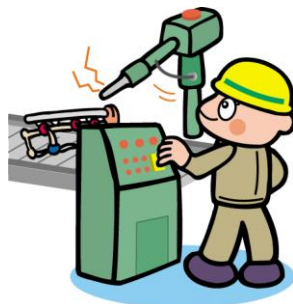
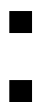
調査事例

個別改善ではなく全体最適化（エリア）
調査データは全てシステムでデジタル検証

これが現場の現実です

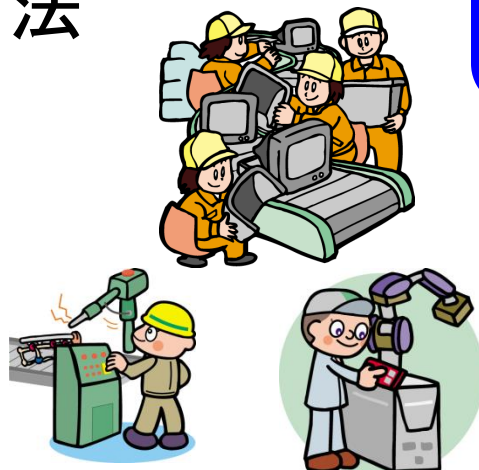
従来までの調査方法との違い

1. 従来の調査方法



1 : 1

2. 当社の調査方法



1 : 同時複数 (デジタル改善)

何時まで経っても
昔のまんまで・・・大変！

従来技術は

1. ストップウォッチやビデオカメラ
2. 図面とチェックシート
3. 1人の無駄と1人の最適化
4. いつまでも「アナログデータ」

改善調査の手法も

時代に合わせた改善が必要では！
(現地・現物・現実の三現主義は
残したまま)

この技術は

1. 足首センサー
2. マイルストーン
3. 小型ビデオカメラ
4. 全体の無駄と全体の最適化
5. 繰り返し見れる「デジタルデータ」

以上内容仅为本文档的试下载部分，为可阅读页数的一半内容。如要下载或阅读全文，请访问：<https://d.book118.com/607034140062006043>